

軍用犬 追跡訓練を実施 *SFS sniffs out suspects in training scenario*

July 18, 2016

Original text by Senior Airman David Owsianka
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地第374憲兵中隊が7月12日、軍用犬の追跡訓練を行った。

(写真1) アパート内で追跡訓練を行う第374憲兵中隊軍用犬訓練士のニコラス・ガルブライス軍曹と軍用犬トパ。軍用犬は嗅覚を使って犯罪容疑者を追跡するほか、麻薬や爆発物などを探知する。



1

(写真2) 訓練のシナリオに基づいて部屋の一角に隠れていた第374憲兵中隊軍用犬訓練士ダニエル・デ・レオン軍曹を見つけ出し、取り押さえる軍用犬トパ。

箱は、障害物の間に潜んだ犯罪容疑者を取り押さえるトパの能力を試すためのもの。



2

(写真3) 容疑者に扮した隊員の腕のパッドに噛み付く軍用犬のトパ。

噛み付きパッドは、訓練士が危険にさらされずに軍用犬が容疑者を制圧する方法を練習させるために使われる。



3